

# 平成 2 1 年度当初予算の概要

農業振興部

## 1 基本的な考え方

農業振興部では、産業振興計画（平成 2 1 年度～平成 2 3 年度）に沿って、「次世代へ引き継ぐ魅力ある農業の実現」を目指して農業者や集落の所得の確保を図る取組を進めていくことにしています。

産業基盤の弱い本県において、農業は県外から、いわゆる外貨を獲得できる基幹産業として重要な位置を占めており、今後もその振興を図っていくためには、農業者、農業団体、行政等の関係者が、戦略を共有し、まとまりを持って取組を進めていくことが重要です。

農業者の高齢化の進行や担い手の減少による生産構造のぜい弱化が進む一方で、重油や肥料等生産資材が高騰するなど、農業・農村をめぐる情勢は、さらに厳しさを増しております。

産業振興計画では、こうした環境の変化に対応し、本県の農産物の強みを活かして、生産戦略としても、流通戦略としても「まとまりの形成」を基軸とした本県農業が進むべき基本方向を踏まえた政策立案と実践にしっかりと取り組み、農家所得の向上と本県農業全体の利益につながる魅力ある農業を実現していくために、次の 2 つを戦略の柱立てとしています。

（ 1 ）競合に打ち勝つ高知ブランドを再構築

（ 2 ）新たな取組による農業・農村の発展

平成 2 1 年度の当初予算におきましては、産業振興計画に基づく取組を本格的に実践していく重要な年度であり、県勢浮揚に向けた実効性のある取組となるよう、新たな施策の創設や既存事業の拡充など、予算の充実を図りました。

## 2 主要な取り組み

平成 2 1 年度は、産業振興計画における改革の方向の一つとして、首都圏など大消費地をターゲットにした商品づくりと販売の強化に全庁で取り組みます。

農業振興部は、量販店と販売戦略を共有した県産園芸品の有利販売や中食・外食等の業務筋への販売強化などに取り組むため、生産から流通・販売まで一元的に支援していく体制を構築し、産地や農業団体と連携した取組を進めます。

産業振興計画の 2 本の柱立てに沿った主要な取組は、以下のとおりです。

### （ 1 ）競合に打ち勝つ高知ブランドを再構築

生産から流通・販売までの総合戦略を、農業者や農業団体、行政等の関係者が共有し、「産地のまとまり」を基軸に、高い技術レベルの産地を形成し、高品質な農産物を安定供給できる高知ブランドを再構築することで、消費地から高く評価されるよう、取組を進めます。

消費者の食の安全・安心志向の高まりに応え、環境保全型農業のトップランナーの地位を確立していく取組は、総合的に病害虫を管理する I P M 技術の全品目への拡大と県内全域への普及を図ることや、安全・安心のレベルを向上させるために、J A の集出荷場の生産工程を点検する仕組みづくりの検討、エコシステム栽培認証等の充実を図ります。

過疎化・高齢化の進行が著しく、集落機能が衰退している中山間地域にお

いては、集落営農を推進することによって、持続的な農業生産活動を支援していくとともに、収益性の高い園芸品目等を導入する「こうち型集落営農」の取組を拡大し、集落で生活できる所得の確保を目指して取組を進めます。

こうした取組を戦略的に進めていくため、野菜、果樹、花きの園芸品目や、米、茶、畜産に至るまで、品目毎に生産から流通販売までを見通した品目別総合戦略を策定し、農業者や農業団体、行政等が共有して課題の解決に向けた対策を実践していきます。

さらに、担い手の育成については、新規就農や異業種からの参入を支援する施策を充実し、地元調整や研修支援、遊休ハウスの活用など、参入準備へのきめ細かな支援を講じることに加えて、新たな担い手の姿である「JA出資型法人」の設立を強力にサポートしていきます。

## (2) 新たな取組による農業・農村の発展

1. 5次産業の推進については、原材料の生産から、加工、流通、販売まで、関係部局と連携して、農産物加工の産業化や地域加工を推進し、農産物の付加価値の向上を進めます。

『高知の食』を活用した取組は、学校給食を活用した食農教育の推進を通じて、子どもの地域特産物や農業に対する理解を促し、将来の農業の担い手の確保をはじめ、本県農畜産物の応援団づくりに取り組みます。また、グリーン・ツーリズムの推進については、集落の強みのある農産物を核として、土地や人、伝統や文化などの集落の資源を活かし、加工品による付加価値化や都市との交流によって、集落を丸ごと情報発信し、集落機能の活性化を図ります。

# 平成21年度の重点施策体系表

注： 新規事業 一部新規事業 再再掲

## 1 競合に打ち勝つ高知ブランドを再構築

### (1) 生産から流通・販売までの一元的支援体制の構築

- 園芸こうち販売促進事業費
- 新需要開拓マーケティング事業費
- 農産物輸出促進事業費

### (2) まとまりのある園芸産地の再構築

- 園芸戦略推進事業費
- レンタルハウス整備事業費
- まとまりのある園芸産地育成事業費
- 野菜価格安定対策事業費
- 戦略品目等技術実証事業費

### (3) 環境保全型農業のトップランナーの地位を確立

- 環境保全型農業普及推進事業費
- 総合的病害虫管理技術実証事業費
- こうち環境・安全・安心点検システム推進事業費
- ステップアップ土づくり事業費
- 有機農業支援事業費
- 環境保全型農業のトップランナーを支えるIPM技術の確立
- オランダウェストラント市 - 高知友好園芸農業協定締結事業費

### (4) 生活できる所得を確保するこうち型集落営農の実現

- 中山間地域等直接支払事業費
- 中山間地域集落営農等支援事業費
- こうち型集落営農モデル育成事業費
- 有望品目導入・定着推進事業費
- 再 レンタルハウス整備事業費

### (5) 品目別総合戦略の実践

- 特産果樹振興事業費
- 農産振興対策事業費
- 土佐茶振興対策事業費
- 畜産経営生産性向上緊急対策事業費
- 地域畜産振興事業費
- 農業試験研究費
- 地域特産物ブランド化技術支援事業費

## (6) 担い手の育成と生産資源の保全

- 新規就農総合対策事業費
- レンタルハウス整備事業費
- 農業経営基盤強化促進事業費
- 農業経営改善支援事業費
- こうち農業確立総合支援事業費
- 農地・水・環境保全向上対策事業費

## 2 新たな取組による農業・農村の発展

### (1) 1.5次産業の推進

- 土佐茶振興対策事業費
- 地域特産物ブランド化技術支援事業費
- 地域畜産振興事業費

### (2) 「高知の食」を活用した取組の拡大

- 高知ジュニア博士育成事業費
- 園芸こうち販売促進事業費
- 好き好き高知野菜大好きっ子育成事業費

### (3) グリーン・ツーリズムの推進

- 集落丸ごとグリーン・ツーリズム推進事業費

# 平成21年度主要事業に関する予算の概要

## 1 競合に打ち勝つ高知ブランドを再構築

### (1) 生産から流通・販売までの一元的支援体制の構築

関東や関西など大消費地に向けて、CM放映などメディアを効果的に活用したPRや佐藤弘道氏による「高知やさい体操」など、「園芸こうち」を広くアピールし、高知ブランドのイメージアップと県産園芸品の消費拡大を図ります。

[園芸こうち販売促進事業費]

青果物等を取り巻く環境の変化（流通・販売・消費行動）に的確に対応するため、農業団体が行う首都圏等での高知フェアの効果的な展開や、中食・外食業務加工需要の新たな販路を開拓するなど、県産園芸品の有利販売を支援します。

[新需要開拓マーケティング事業費]

信頼できるパートナーとの関係を強化し、国内外での展示・商談会・テスト輸出等の取組を支援し、農産物の輸出促進を行います。

[農産物輸出促進事業費]

### (2) まとまりのある園芸産地の再構築

消費地のニーズに応え、良い品を安定的に供給できる産地を目指して、各地域のJAが主体となった「地域園芸戦略推進会議」や、県全体の共通課題に対応する「高知県園芸戦略推進会議」の運営を通じて、農業者・農業団体・行政が一体となって課題解決に向けた取組を進めます。

[園芸戦略推進事業費]

産地の維持・強化を図るため、施設の規模拡大や高度化（建て替え）による経営改善を目指す農業者や新たに園芸農業へ参入する方を対象に、JA等が行うレンタルハウスの整備に対して支援を行います。また、中古ハウスを活用したレンタルハウスの整備に対しても支援を行います。

[レンタルハウス整備事業費]

一部の篤農家が今までに蓄積してきた優れた技術を、産地の生産者に速やかに移転できるよう、相互に学び教え合う仕組みづくりを推進し、生産コストの上昇分を吸収するだけでなく、消費地にも信頼される産地と、そういう産地づくりを行うことで農家所得の向上と競争力のある産地を目指します。

[まとまりのある園芸産地育成事業費]

生産者の経営安定と野菜の安定供給を確保するため、市場価格が著しく低下した場合に計画的に生産出荷される対象野菜に対して価格補填を行います。

[野菜価格安定対策事業費]

新品種や新技術の栽培実証、生産性の向上や作業性の改善などの技術実証に総合的に取り組み、すみやかな技術の普及と課題解決を図ります。

[ 戦略品目等技術実証事業費 ]

### ( 3 ) 環境保全型農業のトップランナーの地位を確立

全国トップの取組となっているIPM技術等を県内全域・全品目に広げ、環境保全型農業を一層推進するため、新たな病虫害への対応やIPM技術の品目拡大など環境保全型農業に関する技術開発を行い、実践する農業者の育成支援及び、技術や機械の導入への支援を行います。

また、家畜ふん堆肥など有機資材活用による土づくりや有機JAS認証取得等に支援するとともに、安全・安心のレベルを向上させるために、生産現場やJAの集出荷場での生産工程を点検するこうち環境・安全・安心点検システムの普及、エコシステム栽培認証等の充実を図ります。

[ 環境保全型農業普及推進事業費 ]

[ 総合的病虫害管理技術実証事業費 ]

[ こうち環境・安全・安心点検システム推進事業費 ]

[ ステップアップ土づくり事業費 ]

[ 有機農業支援事業費 ]

[ 環境保全型農業のトップランナーを支えるIPM技術の確立 ]

環境保全型農業技術の世界のトップランナーであるオランダのウェストラント市と友好協定を結び、県内の農業者や関係者の意識をさらに高め、トップランナーの地位を築くスピードを加速します。

[ オランダウェストラント市 - 高知友好園芸農業協定締結事業費 ]

### ( 4 ) 生活できる所得を確保するこうち型集落営農の実現

耕作放棄地の発生を防止し、農業・農村の持つ多面的機能を維持するため、中山間地域等直接支払制度を活用して、地域の農業生産活動の維持に向けた取組を支援するとともに、集落協定を契機とする集落営農への取組を推進します。

[ 中山間地域等直接支払事業費 ]

中山間地域における集落営農組織を育成し、所得の確保・向上につながる農業生産の共同活動を支援します。

特に、園芸品目等の導入・生産拡大によって産地化を目指す「こうち型集落営農モデル」を育成するため、新たにモデル集落を追加選定し、普及啓発、組織育成・運営及び実証展示を支援します。

[ 中山間地域集落営農等支援事業費 ]

[ こうち型集落営農モデル育成事業費 ]

[ 有望品目導入・定着推進事業費 ]

[ レンタルハウス整備事業費【再掲】 ]

## ( 5 ) 品目別総合戦略の実践

特産果樹の品質向上のために必要な機械・資材整備を支援し、高品質果実が安定的に生産・出荷できる条件を整備することで産地のまとまりづくりにつながります。

[ 特産果樹振興事業費 ]

米農家の所得向上を図るため、地域特性を活かした特色のある米づくりへの取組と売れる米づくりに向けた販売促進活動などを支援します。

[ 農産振興対策事業費 ]

中山間地域の基幹的な農産品である土佐茶の生産振興を図るため、生産者と関係団体が一体となって消費拡大等に取り組み、茶業の維持を図ります。

[ 土佐茶振興対策事業費 ]

再生稲や飼料用米による生産コスト低減や飼養管理改善等、生産性向上による畜産農家の経営安定を図ります。

[ 畜産経営生産性向上緊急対策事業費 ]

土佐和牛、土佐ジローや土佐はちきん地鶏等本県特産の畜産物について、生産から流通・販売までを一体的に支援します。

[ 地域畜産振興事業費 ]

農業経営の安定・向上を図るため、優良品種の育成、栽培方法・施肥法の改善、病虫害防除技術の開発、省力生産技術の確立、農産物の鮮度保持技術の開発、家畜の生産性向上技術の開発等を行います。

[ 農業試験研究費 ]

地域特産物のブランド化に向け、ユズ優良種苗の開発・供給、土佐茶の仕上げ茶技術、特産鶏増産、土佐和牛での自給飼料利用について、技術開発、技術支援を行います。

[ 地域特産物ブランド化技術支援事業費 ]

## ( 6 ) 担い手の育成と生産資源の保全

農業会議や県農業公社が実施する新規就農者の確保に向けた取り組みを支援するとともに、新規就農者の確保・育成に向けて、地元調整や研修の充実など、参入準備へのきめ細かい支援や、新たな担い手組織としてのJA出資型法人の設立をサポートします。

[ 新規就農総合対策事業費 ]

[ レンタルハウス整備事業費【再掲】 ]

担い手育成総合支援協議会中心に認定農業者等の経営改善への取組を支援します。

また、規模拡大等による経営発展を支援し、企業的経営体の育成を図ります。

[ 農業経営基盤強化促進事業費 ]

経営再建に意欲的に取り組む農家やJAに対し、経営実績の分析診断結果に基づいた栽培技術と経営管理の総合的な支援や、経営支援農家の短期営農負債の利子負担軽減及び保証枠の拡大を行い、早期の経営安定・改善と経営の目標管理ができる経営体の育成を図ります。

また、農作業斡旋窓口の設置による農家と求職者のマッチングとフォローアップを通じた新たな雇用の創出を図ります。

[ 農業経営改善支援事業費 ]

[ 農業経営改善支援営農資金利子補給金 ]

[ 農業経営改善支援特別準備金出えん金 ]

地域の特性を生かした農業の振興と担い手の育成・確保を図るために、市町村が自主的・主体的に取り組む農業振興策を支援します。

[ こうち農業確立総合支援事業費 ]

過疎化・高齢化・混住化等の進行に伴い、適切な保全・管理が困難になった農業用水路や農道等の資源保全を農業者だけでなく地域住民等も参画し、住民力を活かした効果の高い共同活動体制を構築するとともに、環境に配慮した先進的な営農活動を推進します。

[ 農地・水・環境保全向上対策事業費 ]

## **2 新たな取組による農業・農村の発展**

### **(1) 1.5次産業の推進**

高知県産にこだわりを持った加工品や地域固有の加工技術を選定し、民間企業の商品開発ノウハウを融合させるなど、部局間の連携により新たな加工品の創出を支援します。

[ 土佐茶振興対策事業費【再掲】 ]

[ 地域特産物ブランド化技術支援事業費【再掲】 ]

[ 地域畜産振興事業費【再掲】 ]



## (2) 「高知の食」を活用した取組の拡大

地域の特産物の食農教育と給食への食材供給にかかる支援を通じて、本県の特産物（文旦、メロン、土佐はちきん地鶏、土佐ジロー、土佐茶）の「ジュニア博士」を育成することや、小学校等での出前授業による本県産青果物のすばらしさや食べ方の普及などにより、将来の農畜産物の応援団づくりを目指します。

[ 高知ジュニア博士育成事業費 ]  
[ 園芸こうち販売促進事業費【再掲】 ]

生産者による食農教育と主要な県産野菜の学校給食への供給体制の構築など野菜の消費拡大を進めます。

[ 好き好き高知野菜大好きっ子育成事業費 ]

## (3) グリーン・ツーリズムの推進

集落がひとまとまりになって生産、加工、体験、販売までを手がけ、集落を丸ごと情報発信し所得の向上につなげる仕組みづくりを支援します。

[ 集落丸ごとグリーン・ツーリズム推進事業費 ]